

令和 7年 6月 25日

(公社)埼玉県介護老人保健施設協会
会長 荒船 丈一 様施設名 鶴ヶ島ケアホーム
氏 名 吉田 慶介

研 修 会 報 告 書

研修会名	西部地区研修			
日 時	令和7年6月25日			
会 場	ウェスタ川越			
講 師	なし			
参加人数・定員	参加人数	14 名	募集定員	40 名
研修リーダー 研修メンバー (施設名)	鶴ヶ島ケアホーム 吉田 慶介 老健 愛 市川 善太郎 ケアステーション所沢 山内 グリーンビレッジ朝霞台 星野 吉光			
研修会のテーマ	老健で働く外国人労働者の「困った」に寄り添う。～私たちにできる事～			
研修会の評価	アンケート回収枚数	14 枚	3. グループワーク	4.2 / 5
	1. 研修内容と目的の一致	#### / 5	4. 研修会の進め方	4.4 / 5
	2. 講義に対する評価	① 4 / 5	～総合評価点～	13 / 20
		② / 5		
		③ / 5		
		④ / 5		
総 評	(研修会開催後の反省会での内容や研修リーダー・メンバーとしての感想等を記述)			
	講師なしで外国人労働者にスポットを当てた研修を行いました。内容としては、外国人グループ・日本人グループに分かれディスカッションを行いました。ディスカッション後、参加者の休憩を行っている間に、ディスカッションで出た内容をまとめ、休憩後にまとめた内容を報告と鶴ヶ島ケアホームでの外国人労働者の事例を報告を行った。			
	外国人グループは、なかなか意見が出ないかと思いましたが、同じ境遇で働いているので最初こそなかなか話せなかったが、時間がたつにつれいっぱい話をしていました。			
	日本人グループも途切れることなくディスカッションをしていたようです。			
	簡単ではありますがディスカッションで出た内容です。			
	外国人・仕事上では、通勤が大変・道が分からない・医療用語がわからない・長期休暇が取るのが難しい・認知症がどんな症状か分からない・ヒヤリと事故の区別が分からない・手書きの字が読めない・家族とのコミュニケーションをとることが難しい・私生活では、ゴミの分別が難しい・公共料金の管理が難しい・などの意見が聞かれました。			
	日本人・どこまで任せるかという疑問・日本人職員にも不安がある・職員と一緒に実践的に動く・多様性について考える機会が増えた・髪型髪色などの規制が緩和された事業所もある・フリガナ付マニュアルを作った・「分かりました」と言ってもすべて理解していないことがあるなどの意見が聞かれました。			
	研修としては初の試みであったのでどうなるかわからないまま行いましたがそれなりに形になりました。アンケートでもまた行ってみてはという意見もありましたので検討したいと思います。			
	最後に外国人労働者のみなさんが言われていたのが、各事業所で日本人によくしてもらっているのががんばれと話されていました。			

* アンケート結果の詳細については、別紙添付資料「研修会アンケートのまとめ」を参照。